

REPORT & INFORMATION

お知らせ Information

ユニセフ・エジプト事務所の日本人スタッフとメールでインタビュー&意見交換

ピラミッドで有名な国、エジプト。ユニセフはここでも活動しています。エジプトはアラブ諸国の中でも重要な役割をなっていて、今回のイラク戦争でもその動向が注目されてきました。

エジプトはイスラムの国です。イラク戦争やテロ事件など、イスラムのことをこうしたニュースの中で聞くことが多いかもしれませんね。ところで、イスラムの人びとはどんな生活をしていて、どんなことを考えているのでしょうか。そもそも、イスラムって何?

今回、ユニセフ・エジプト事務所の大澤祐子さんが、メールでみなさんの質問に答えたり、みなさんとの意見交換に参加したりしてくれることになりました。7月後半の1週間に、ユニセフ子どもネットのメーリングリストを使って、大澤さんとのインタビュー&意見交換をおこないます。イスラムやエジプトに興味を持っているみなさん、エジプトでユニセフがどのような活動をしているのか知りたいみなさん、この機会に、疑問に思つたことを何でも聞いてみたり、自分たちの意見や考えを聞いてもらったりしましょう。

また、この企画の中心になる企画委員になってくれるネットワーカーを募集します。役割は、最初の質問を考えて、中心となって大澤さんとのやりとりを進めたり、インタビューや意見交換の内容を後でユニセフ「子どもネットニュース」の記事にまとめたりです。



エジプトの子どもたち
©UNICEF/HQ96-1054/Nicole Toutounji

インタビュー期間

7月後半の1週間

(くわいい日程はのちほどご連絡します)

参加できる人

自宅または学校などで電子メールを使える人でユニセフ子どもネットのメーリングリストに参加している人(これからメーリングリストに参加したいという人は、ユニセフ子どもネット事務局までご連絡ください)

企画委員のもうしこみ

以下を書いて、メールで
jcuinfo@unicef.or.jpまで送ってください。

- 1) お名前 ネットワーカー番号
- 2) 大澤さんに聞いてみたいこと
(企画についての案があればいっしょに書いてください)

参加者募集

ユニセフ子どもネット @北海道

北海道のユニセフ子どもネットワーカーの有志が、8月9日に札幌で、高校生を対象にさまざまなことについて意見を言い合うフォーラムを計画しています。

「自分の人生に、社会に何を求めてるんだろう? そのためにはどのように生き、行動し、何ができるのか? ほかの国や子どもたちはどのような人生を歩んでいるんだろう?」

さまざまな参加者が集まって意見を交換する中で、これから活動や何かが見えてくるかもしれません。お友達にも声をかけて、ぜひ参加してください。

日 時 : 2003年8月9日(土)午前11:00~午後2:45

会 場 : 札幌市民会館 2階会議室

対 象 : 高校生(子どもネットワーカー以外でもOKです)

当 日 は 昼 食 を 持 参 す る だ い

参考希望者は、ユニセフ子どもネット事務局に、電話・ファックス・メールなどで申し込んでください。



お問い合わせ・もうしこみは

ユニセフ子どもネット事務局

(日本ユニセフ協会 広報室)

住 所: 〒108-8607

東京都港区高輪4-6-12

でんわ: 03-5789-2016

ファックス: 03-5789-2036

電子メール: jcuinfo@unicef.or.jp



報告 Report

ユニセフ子どもネット@九州 第4回学習会報告

4月5日、ぼくたち九州に住んでいるネットワー

カは福岡で学習会をおこないました。

今回は、東京から日本ユニセフ協会 広報室の森田

さんが来てくれました。自己紹介から始めて、続いて

森田さんから「権利(人権)」に関して基本的なことを学

びました。また、ゲームを通して「権利感覚」を実感しました。

次に、子どもの人身売買やCSEC(子どもの商業的性搾取)について

お話を聞き、みんなでその原因や解決方法を話し合いました。その結果、

原因是「すべてのものが商品として取引されてしまう社会」ということ

にたどり着きました。また、解決策は「教育と心への働きかけ、そして

貧困をなくすための経済支援も必要」だということに結論に達しました。

その後、今後の活動などを話し合

いました。

今回は、これまでにできなかったこと

や積極的な話し合いができました。また、

これまで知らなかったことや学校では勉強

できないことも、たくさん知ることができ

てよかったです。

(報告:秦 聖一郎 17歳)



日本橋図書館で子どもの権利について 展示会をひらきました!

ユニセフ子どもネットワーカーの小張真理子さんは、「子どもの権利」を知らせたい中学生や高校生と一緒に『知ろうよ! 子どものけんり展~今を生きる子どもたち~』を、3月29日から4月12日まで、東京の日本橋図書館でひらきました。児童労働について調べた資料や、日本ユニセフ協会などで集めた資料などを、みんなで協力してたくさん展示しました。ちょうど企画を考えていたときにイラク戦争がはじまったので、「戦争がおきたら子どもたちがどうなってしまうか」ということをみんなに知らせたくて、劣化ウラン弾や子どもの兵士について調べたことや、イラクの子どもたちの絵なども展示しました。



LETTERS ユニセフ子どもネットニュース NO.4を読んで

ネットワーカーからの感想

出生登録というものがあることを始めて知りました。出生登録をしないと存在が認められないこともわかり、大事なことなんだなあと思いました。世界の人びと全員がいろいろな権利を持ち、世界から認められてほしいです。

「子ども参加」のほんのちょっとしたことでちゃんと「参加」なんだなと思った。学校で先生が独断で決めてしまい、話し合いの意味がなくなったときに、そんなときは「子ども参加」の権利というか、そういうのが無視されてるかも...と思った。(山田 莉可 12歳)

一番心に残ったのは出生登録についてです。私達にあとは当たり前のことが、できない人がたくさんいるってことを改めて感じました。登録をしていないだけで、

自分の存在がなくなると思うとすごく悲しいです。

(杉浦 綾子 13歳)

「子ども参加」に関するアンケートを読んで、少し元気がわいた。みんないろいろなことを考えているんだ

なと思った。それに、いろいろなところでの自分の意見を持ち、伝えようとしていることがわ

かり、私もがんばろうと思った。これからも、こんな風なアンケートをしてほしいと思う。

